

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人雲南広域福祉会

目 次

I. 総括	P 1
II. 法人運営	P 3
1. 理事会、評議員会	P 3
2. 監査	P 5
3. 評議員選任・解任委員会	P 6
4. 政策運営会議	P 6
5. 所長会議	P 6
III. 各事業所の事業報告	P 6
1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房	P 7
① 就労移行支援事業	
② 就労継続支援B型事業	
③ 就労定着支援事業	
2. 生活介護事業所にじいろ	P 10
3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ	P 13
4. 児童発達支援事業所さくら教室	P 16
5. 相談支援事業所そよかぜ館	P 18
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ	P 21
7. 地域活動支援センターパレット	P 25
IV. 事業活動の運営に当たって	P 29
1. 利用者の人権尊重、苦情解決	P 29
2. 職員の研修、教育	P 29
3. 防災対策	P 31
4. 関係機関との連携、運営の公開	P 31
5. 地域の人材育成や地域啓発	P 31
6. 福祉団体への支援	P 32

令和3年度雲南広域福祉事業報告書

I. 総括

近年、少子高齢化が一層進行する中で、障がいのある方の増加、特に重度障がいの方が増える傾向にある。そうした中で「すべての人々がその人らしい生活ができるよう支援する」社会福祉法人の役割も重要になっている。

また、障害者総合支援法の一部改正法(平成28年5月成立)が、平成30年4月から完全施行され、就労定着支援事業や自立生活援助事業が新設されると同時に高齢化・重度化に重きを置いたサービス展開と多様なニーズに対するより柔軟で適切な対応が求められるようになった。

こうした中で、私たちは「障がい者(児)支援 第3次中期事業計画」(平成30年度～平成34年度)を策定し、「就労定着支援事業」及び「自立生活援助事業」等を新たに実施していくことなどを検討し、地域のニーズに対応した事業運営と魅力的な職場づくりを目指すこととした。

そして、令和3年度決算において、収入では、給付費は、児童発達支援事業所「さくら教室」、共同生活援助事業所「レインボーハイツ」、就労支援事業所「しゃぼん玉工房」は増加し、相談支援事業「そよかぜ館」、生活介護事業所「にじいろ」は減少し、法人全体では、給付費収入は増加となった。一方、支出面では人件費・事務費は前年に比べて増加したが、事業費の支出は、横ばいとなり、結果として法人全体で単年度収支は、黒字となったが、令和4年度以降、引き続き財政的に厳しい状況が続いていく。

更には、年度末には退職者もあり、今後の職員の人材の確保にも影響が生じており、第3次中期事業計画に沿った法人の経営戦略については、実績とその評価を踏まえて、改めて見直しを図ることとなる。

一方、私たちの法人が果たすべき役割はますます重要となっており、法人の現状と課題について役員と職員が情報を共有しながらしっかりと議論することが何よりも大切になってきている。

そのことを通じて、具体的な目標設定等や方向性を明らかにして、地域貢献を継続していける法人となること、すなわち「健全な法人運営」に全力を傾注していかなければならない。

以下各事業について報告する。

1. 障がい福祉サービス事業所の就労支援事業所しゃぼん玉工房では、以下のとおり取り組んだ。

- ① 就労移行支援事業では、利用者個々の適性に応じた職場実習や就労準備支援を行なった。また、就職した方が勤務する職場への訪問等により定着支援を行なった。
- ② 就労定着支援事業では、就労移行支援事業等を利用し、一般就労後、6か月経過した障がい者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所や家族等との連絡調整等の支援を行なった。
- ③ 就労継続支援B型事業では、体力や職業能力に応じた作業に従事できるよう支援した。また作業の拡充と工賃向上を目指す中、コロナ禍も回復し、クリーニングでの作業量は増加し、施設外作業では、雲南市水道局水源地の草刈り作業やバスセンター清掃作業等も受託件数が増加し、安定した作業量の確保ができた。

2. 障がい福祉サービス事業所の生活介護事業所にじいろでは、生産活動と余暇活動、健康管理に関して支援を行った。生産活動では、コロナ禍の影響はあったが、年度後半には、仕事量も増え、工賃収入の増加につながった。余暇活動では、外出の機会を増やし、季節感や賑わいを経験する機会を図った。健康管理では専門職に講師を依頼して、講義や実技を通して学ぶ機会を増やした。
3. 障がい福祉サービス事業所の共同生活援助事業所レインボーハイツでは、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 四ヵ所のユニット毎に各利用者一人一人の状況に応じて、安心して共同生活が継続できるよう支援した。
 - ② 衣食住全般に渡る日常生活や金銭管理、健康管理や余暇支援、また就労している利用者の就労継続支援等に取り組んだ。
4. 児童福祉サービス事業所の児童発達支援事業所さくら教室では、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 就学前の児童に対して児童発達支援事業、学齢期の児童・生徒に対して放課後等デイサービス事業を開設曜日の効率化を図りながら、集団療育、個別療育に取り組んだ。
 - ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から受託して実施した障がい児通園事業では、通常事業に加えて飯南町、奥出雲町で定期的に療育支援を行った。島根県東部発達障害者支援センターの協力を得て、保護者が「子どもとの関わり方」を学習できるようペアレントトレーニングに取り組み家族支援を行った。また、相談機関につながる前の親子を対象に遊びの教室を開催し、親子の触れあい方を遊びを通じて伝えるよう支援した。
5. 相談支援事業所そよかぜ館では、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託して、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。
 - ② 指定相談支援事業所としてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。
 - ③ 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、高次脳機能障がい者の地域生活の相談に応じた。
 - ④ 単身で生活する障がい者等が地域での生活を継続できるよう地域定着支援に取り組んだ。
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでは以下のとおり取り組んだ。
 - ① 障がい者に対する就労支援や職場定着支援、事業主に対する障がい者雇用や雇用管理への助言、働く仲間のグループ育成や交流会の開催、関係機関との就労支援ネットワーク構築等に取り組んだ。
 - ② 就職ガイダンス、ピアサポート活動、マナーアップ講座等、障がい者の就労意欲の向上、働く上で必要な知識やスキルを身につけるための研修会を開催した。
 - ③ 「雲南地域はたらく応援プロジェクト」を、地域の障がい者就労支援関係機関が連携・協力し、就労系福祉サービス事業所利用者の就労支援に取り組んだ。
7. 地域活動支援センターパレットでは、以下のとおり取り組んだ。

- ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域活動支援センター I 型事業を受託して、日常的に創作活動や軽作業による生産活動、障がい当事者の自主的活動の支援や広域的な交流活動等を行った。
- ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業や社会参加促進事業等を受託して、手話通訳者の設置、芸術・文化教室の開催や視覚障がい者の社会研修等に取り組んだ。

8. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を以下のとおり行った。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、「公益財団法人 JKA による競輪公益資金に係る補助金」、「障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業助成金」、「小学校休業等対応コース助成金」の活用を図った。
- ② 各事業所において感染拡大防止のため、一部の会議・行事・活動等において、中止・延期・縮小の措置をとった。(ふれあいまつり、障がい者スポーツ大会、障がい者ニュースポーツ大会等)
- ③ 職員・利用者のうち希望者については、新型コロナウイルスワクチン接種の 1・2 回目を令和 3 年 9 月上旬までに、3 回目を令和 4 年 3 月までに行った。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、職員が濃厚接触者等となり、令和 4 年 3 月に「地域活動支援センターパレット」で 4 日間、「児童発達支援事業所さくら教室」で 1 日間、法人の自主判断で休所とした。

II. 法人運営

1. 理事会、評議員会

雲南広域福祉会の現在の理事・評議員数は以下のとおりである。

- 1) 理事数 7 名
- 2) 評議員数 8 名
- 3) 監事数 3 名

(1) 理事会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第 8 7 回理事会 6 月 8 日(火)	理事：6 名 監事：2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の職務執行状況報告及び令和 2 年度補正予算(第 4 次)専決処分について ・ 理事及び監事並びに評議員の選任基準等を定める内規について ・ 令和 2 年度事業報告について ・ 令和 2 年度会計決算について ・ 令和 3 年度補正予算(第 1 次)について ・ 理事、監事、評議員候補者の選定について ・ 第 4 回評議員選任・解任委員会の招集の決定について ・ 第 6 7 回評議員会の招集の決定について

2	第88回理事会 6月23日(水)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選任について ・財務担当理事の委嘱について
3	第89回理事会 8月6日(金)	理事：5名 監事：2名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任結果及び評議員の辞任について ・理事候補者の選定について ・第68回評議員会の招集の決定について
4	第90回理事会 10月19日(火)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の職務執行状況報告及び上半期事業報告について ・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・経営状況について ・政策運営会議の委員変更について ・令和3年度補正予算（第2次）について ・第69回評議員会の招集の決定について
5	第91回理事会 3月17日(木)	理事：5名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の辞任について ・島根県指導監査結果と是正改善項目について（報告） ・各事業所運営規程等の一部改正について ・令和3年度補正予算（第3次）について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度当初予算について ・評議員候補者の選定について ・事務局長の任用について ・第5回評議員選任・解任委員会の招集の決定について ・第70回評議員会の招集の決定について

(2) 評議員会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第67回評議員会 6月23日(金)	評議員：8名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事及び監事並びに評議員の選任基準等を定める内規について ・令和2年度補正予算（第4次）専決処分について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度会計決算について ・令和3年度補正予算（第1次）について ・理事、監事の選任について
2	第68回評議員会 8月17日(火)	評議員：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補充選任について

3	第69回評議員会 10月27日(水)	評議員：8名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期事業報告について ・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・令和3年度補正予算（第2次）について
4	第70回評議員会 3月25日(金)	評議員：5名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の交代について ・令和3年度補正予算（第3次）について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度当初予算について

2. 監査

(1) 監査の状況

回	実施年月日	実施者	内 容
1	5月27日(木)	監事：3名 財務担当理事：1名	令和2年度 事業報告 令和2年度 資金収支計算書 令和2年度 事業活動計算書 令和2年度 貸借対照表 令和2年度 財産目録

(2) 内部経理監査の状況

回	実施年月日	実施者	点 検 項 目
1	8月24日、 27日、 31日、	財務担当理事：1名	第1四半期分 ①経理規程の整備状況 ②会計組織の整備状況 ③通帳・印鑑の管理状況 ④支出事務の状況 ⑤収入事務の状況 ⑥寄附金の取扱状況 ⑦固定資産の管理状況 ⑧予算の管理状況 ⑨契約の取扱状況 ⑩財務諸表の開示 ⑪諸帳簿等の作成状況 計算書類、会計帳簿（主要簿、補助簿）、証憑書類関係（見積書、請求書、振込書、領収書、決議書等）

2	12月22日、 24日、 28日	財務担当理 事：1名	第2四半期分 (点検項目は第1回と同じ)
3	2月21日、 3月9日、 10日	財務担当理 事：1名	第3四半期分 (点検項目は第1回と同じ)

3. 評議員選任・解任委員会

回	実施年月日	出席者数	選任・解任の状況
1	6月23日(水)	委員3名 理事長 理事1名 事務局員	評議員9名 選任 多賀静香・山本勝昭・松原操・木村康男・小林功・ 曾田富代・阿川光美・松本廣志・周藤喜好
2	3月22日(火)	委員3名 事務局員	評議員1名 選任 梅木郁夫

4. 政策運営会議

事業規模が拡大・多様化してきている当法人の業務の中で、重要な事項の執行等事業運営の円滑化を図るため、理事長と理事長の指名する理事による政策運営会議を開催した。

開催日 4月16日(金)、3月9日(水)

5. 所長会議

月1回の定例開催により各事業所の成果や課題を共有しあい、法人全体で事業間の連携を取りながら各事業の特性を活かして業務に当たった。又、個別に事業所の経営状況について所長ヒアリングを行いながら経営改善への努力を行っており、今後はこれを所長会議の中に位置づけて経営改善に努めたい。

Ⅲ. 各事業所の事業報告

1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房

① 就労移行支援事業

② 就労継続支援B型事業

③ 就労定着支援事業

2. 生活介護事業所にじいろ

3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ

4. 児童発達支援事業所さくら教室

5. 相談支援事業所そよかぜ館

6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ

7. 地域活動支援センターパレット

I. 事業別実施状況

1. 就労移行支援事業

一般就労を希望される方に対し、個別支援計画に基づき、事業所内での作業、企業内実習等を実施し、就労前準備支援を実施した。就労前準備の整った方に対しては、個々の適性に沿った職場探しを行った。

(1) 就職件数

件数	就職先の業務内容
2	製造業 <u>合計2社</u>

(2) 職場見学・実習の実施

1) 職場見学 5社

2) 職場実習

件数	日数	実習先の業務内容
3	29	製造業、食品加工業、高齢者福祉 <u>合計3社</u>

(3) 就労へ向けたプログラムの実施

就職や実習、見学に向けて個別に就労勉強会を実施し、ビジネスマナー等、事前学習の機会を設けた。

(4) 就労アセスメントの実施

特別支援学校の生徒等、5名に対して実施した。内1名がしゃぼん玉工房の利用に繋がった。

2. 就労継続支援B型事業

一般就労をしていたが、年齢や体力等の理由で離職した方、一般就労を目指しているが必要な体力や職業能力の不足により就職に結びつかない方等に対し、個別支援計画に基づき、事業所内外において生産活動の機会を提供した。また、一般就労を希望する方には、就労に向けた支援を行った。

(1) 作業活動内容

- ・新型コロナウイルス感染対策として、検温やマスクの着用及び、日々の健康観察を実施した。また、各作業室の利用者数の制限、休憩時間を分散する等、その他感染予防に努めながら作業活動を実施した。
- ・新型コロナウイルスによる作業への影響は、前年度と比較しても少なく、クリーニング作業も例年並みの作業量へ回復し、市内宿泊施設等からの受注も増え、増収となった。
- ・農作業では、令和3年度からの取り組みとして実施した、にんにくの契約栽培が順調に終わり、出荷予定全数量を市内食品加工会社へ納めることができた。
- ・施設外作業（トイレ清掃作業、除草作業）は雲南市からの受託作業件数も増加し、増収となった。
- ・就労支援事業収入は支出を大きく上回ったため、令和3年度は精算工賃（個々の年度支給工賃合計額の20%相当の額を売上金より支給）を支給することができた。年間の平均工賃月額額は31,085円となり、前年度と比較し5,053円増額となった。

(2) 就労支援事業収入

15,591,933円 (対前年度比 113%)

作業別収入 (内訳)

作業	収入	前年度比
クリーニング	6,671,854円	118%
野菜加工(ホウ草、セリ)	2,099,944円	112%
製品加工(かぼちゃ等)	1,247,890円	90%
施設外(トイレ清掃、除草等)	3,327,787円	126%
野菜出荷(農作業)	2,244,458円	101%

(3) 利用者工賃

1) 平均工賃月額 31,085円 (前年度比 119%) ※就労継続B型事業の実績

2) 工賃支払総額 9,976,040円 (前年度比 114%)

(4) 就労支援

職場見学、実習の実施 3名 1社 (食品加工業)

3. 就労定着支援事業

就労移行支援事業を利用して就職し、就職後6か月経過した利用者に対し、面談や職場訪問、支援会議等を実施して就職後の定着支援を行った。

(1) 利用状況

	契約数	定着数	就職先の業務内容
就労定着支援	6	6	製造業、小売業、食品加工業 合計6社

(2) 職場定着状況

年度	定着者数 (年度末時点(人))	定着率(%)
令和2年度	5	100
令和3年度	6	100

II. 学習活動・行事・交流活動の実施状況

・新型コロナウイルス感染症の影響により、当事者交流会、スポーツ大会、ふれあいまつり等の多くの行事が中止となり、他事業所及び地域との交流の機会が減少している。

・月1回「利用者ミーティング」を行い、円滑な対人関係形成等について、コミュニケーションゲーム等を通して作業以外での利用者同士の交流を図った。

III. 支援実施状況

(1) 利用者の状況 (事業別)

① 契約者数推移

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労移行	4	5	5	6	5	3	3	2	2	2	3	3
継続B型	27	26	26	26	27	27	27	27	28	29	29	28
就労定着	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6
合計	36	36	36	37	37	35	35	34	35	36	37	37

② 平均利用者数・利用率 ※()カッコ内前年度比

	就労移行支援	就労継続支援B型
一日平均利用者	2.9人(-0.1人)	20.4人(-0.2人)
年間利用率	48%(-2%)	85%(-1%)

③ 障がい種別

	精神	知的	発達	身体	合計(人)
就労移行支援	0	2	1	0	3
就労継続B型	10	14	2	2	28
就労定着支援	3	3	0	0	6
合計	13	19	3	2	37

④ サービス別・年代別

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均(歳)
就労移行支援	2	1	0	0	0	0	0	22.0
就労継続B型	0	8	3	6	6	5	0	43.6
就労定着支援	0	2	3	1	0	0	0	33.3
合計	2	11	6	7	6	5	0	40.1

⑤ 契約者の出身地域別状況

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計(人)
就労移行支援	3	0	0	0	3
就労継続B型	26	1	0	1	28
就労定着支援	6	0	0	0	6
合計	35	1	0	1	37

⑥ 新規契約者の利用経路

相談支援事業所	2
特別支援学校	1
その他の機関	1
合計	4

⑦ 退所者

	就職	法人内サービス	法人外サービス	就労アセスメント	在宅	入院	その他	合計
就労移行支援	2	1	0	5	0	0	0	8
就労継続B型	0	1	0		1	0	1	3
就労定着支援		0	0		0	0	0	0
合計	2	2	0	5	1	0	1	11

令和3年度生活介護事業所にじいろ 事業報告

I. 事業別実施状況

1. 生活介護事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、例年取り組んできた事業を今年は実施できた。感染拡大状況から実施内容の変更を行い、中止や延期とならないように取り組んだ。
- ・一方で、健康関係の事業に関して接触や飛沫感染などの可能性から、外部講師を依頼しての事業実施は行わなかった。利用者の個別支援計画に基づき、創作活動や生産活動等の機会を提供し、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を行った。

(1) 活動内容

- ・午前の生産活動では、企業からの製品組み立て作業、しゃぼん玉工房から野菜の出荷調整作業を提供した
- ・個別活動では、生産活動、創作活動、入浴などの活動を提供した。
- ・全体活動では、体操・軽スポーツ・クイズ・創作・喜劇鑑賞など施設内で行える活動と買物・外食・植物鑑賞・アート鑑賞など外出活動を行った。

○週間予定表について

	月	火	水	木	金
午 前	生産活動	生産活動	生産活動	生産活動	生産活動
午 後	全体活動	個別活動	個別活動	全体活動	個別活動

(2) 生産活動の実施状況

- ・新型コロナ感染の影響を受けて、仕事量の変動があり、影響の大きかった前年度よりも作業収入が下回る月もあった。年度後期には、各企業からの仕事量も増え、合計金額、平均工賃共に、前年度を上回った。
- ・受注作業は、前年度と変わらず取り組んできた。作業が数種類あることで、支援の度合いに合わせた作業環境で取り組んでもらえ、作業効率が向上し、工賃支給額の増加につながっていると考えられる。
- ・作業単価の高い仕事を受注しない限り、今後の平均工賃の大きな増加は見込めない。利用者の高齢化に伴い、生産力の低下がみられる。利用者の状況に合わせた仕事の受注と作業環境の工夫がより一層必要と考えられる。

○作業収入について

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和2年	46,258	40,284	40,344	54,693	36,283	48,080	41,783	44,507	60,296	38,424	42,027	56,872
令和3年	43,309	33,577	48,458	53,401	52,735	47,364	37,346	48,542	60,893	49,478	56,794	68,142

※令和2年度合計：549,851円 令和3年度合計：600,039円（前年比109%）

※令和3年度年間平均工賃額(作業従事者1名当たり)：2,787円（前年比(2,611円)：106%）

(3) 全体活動実施状況

- ・例年行っている行事や外出を実施する計画を立て、新型コロナ感染状況を確認しながら取り組んできた。にじいる単独で行う事業に関しては、感染状況に合わせて、外出先を変更するなど対応し中止することなく取り組めた。
- ・熱響UNNANの実施にも事務局と実施する方法を検討し、三刀屋でのあちこちコンサートの開催、「かもてらす」での本公演への出演ができた。
- ・雲南市内の小売店への買物外出のみ実施した。毎月の定番となり、利用者の楽しみになってきている。

○行事・外出実施状況について

実施月	内 容	参加人数
4月	三刀屋土手花見	12名
	トライアル買物外出	9名
5月	マルシェ買物外出	11名
6月	笹巻	13名
	トライアル買物外出	11名
7月	あちこちコンサートワークショップ	10名
	トライアル買物外出	12名
8月	陶芸	12名
	トライアル買物外出	10名
	あちこちコンサートワークショップ	9名
9月	あちこちコンサート	10名
	トライアル買物外出	11名
10月	リンゴ狩り	12名
	トライアル買物外出	11名
11月	紅葉狩り	12名
	トライアル買物外出	13名
12月	トライアル買物外出	10名
	クリスマス会	12名
1月	初詣	9名
	アート教室	12名
	トライアル買物外出	9名
2月	天候不良のため外出中止	
3月	トライアル買物外出	8名
	加茂花見	12名

(4) 健康管理支援

健康管理において、外部講師を呼んでの活動では、身体接触や飛沫感染の恐れを伴うため、取り組まなかった。施設内での軽スポーツ、体操や笑うことなど、職員が取り組める活動で健康管理に寄与した。

II. 支援実施状況

1 利用者の状況

○利用者定員 20名 : 利用契約者 20名 (新規契約: 2名 解約: 0名)

①契約者数 単位: 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約数	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20
契約		1									1	
解約												

②平均利用者数・利用率

一日平均利用者数 11.65人 (昨年度比 0.35減) : 年間利用率 58%

③契約者障がい種別

精神	知的	発達	身体	計
15	1	0	4	20

④契約者サービス別・年代別

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均(歳)
0	0	0	1	5	7	7	71.2

⑤契約者の地域別状況

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計
17	2	1	0	20

⑥新規契約者の利用経路

相談支援事業所そよかぜ館	2
他法人の相談支援事業所	0
居宅介護支援事業所	0
合計	2

令和3年度 グループホームレインボーハイツ事業報告

1. ユニット別支援の特徴・利用者の状況に応じて住環境や援助の重点を考慮して運営した。

開始年度	ユニット名	定員	3月末 利用者数	ユニットの特徴
H14.4月	レインボーハイツ	10名	9名	精神症状の揺らぎの大きい利用者の相談に細やかに対応し、安心して暮らしていただいた。
H20.4月	いいしハイツ	5名	3名	男性で構成。共同生活のルールの中で話し合いながら楽しく暮らしていただいた。
H22.4月	こじょうハイツ	6名	5名	男性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
H24.4月	はるひハイツ	5名	2名	女性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
		26名	19名	※3年度終了時 19名

2. 利用者への一体的援助、個別的援助、介護の実施

休息の場を提供し、個別ニーズに応じた個別支援計画により、安心して、楽しく共同生活を送り、コロナ禍でも日中活動の場に継続して出かけられるよう支援や援助を行った。

(1) 日常生活支援の実施

(衣、食、住環境、保清、身だしなみ、ホーム当番(炊飯、掃除等)活動が苦手な方への援助)

生活相談	延 58 件
生活支援	延 2,309 件

(2) 健康管理の実施

基礎疾患等での定期通院の援助、受診同行、服薬支援、不調時の対応等、急性の傷病に対しての受診援助、新型コロナウイルス感染防止、インフルエンザ、食中毒等での予防等を行った。

健康管理、健康・医療相談	延 308 件
受診同行	実人数 18 名、延 338 件
服薬支援	延 4,682 件 (薬の預かり 6 名)

(3) 金銭管理支援の実施

自己管理支援及び金銭等(必要者)の預かり、日常生活自立支援事業(社会福祉協議会)の利用支援を行った。

金銭管理支援	延 247 件 (金銭等預かり 1 名)(日常生活自立支援事業利用援助 10 名)
--------	---

(4) 関係機関等との連絡調整等の実施

日中活動に継続して出かけられるよう関係機関等と連絡調整を行い、生活支援、就労定着支援を行った。

関係機関との連絡調整	延 113 件
------------	---------

(5) 利用者ミーティングの実施 (利用者間の人間関係調整でのグループワーク)

	職員合同	利用者のみ
レインボーハイツ	6 回	0 回
いいしハイツ	6 回	0 回
こじょうハイツ	3 回	9 回
はるひハイツ	12 回	1 回

(6) 買い物支援の実施

買い物デー	延 325 回 (853 人)
-------	-----------------

(7) 季節行事（文化、スポーツ活動）、社会参加・地域交流の実施

コロナ禍でもあり、全ユニット合同交流会を1回実施し、利用者、職員と一緒に楽しい時間を過ごした。年末は、夕食を豪華にし、各ユニットで慰労会を実施した。

全ユニット合同交流会（軽スポーツ、クリスマスコンサート）	1回
還暦祝い	0名

(8) 近隣地域との交流、地域の理解（コロナ禍のため、地域イベントなし）

(9) 運営の公開と合意形成（施設見学の受入れ、たより広報、支援会議への参加等）

(10) 苦情解決（苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会への参加）

(11) 非常災害対策・緊急時対応（火災予防、避難訓練、夜間防災体制、緊急時連絡体制）

総合訓練	1回
部分訓練	各ユニット2回（水害訓練・火災訓練）

	R3年度	R2年度
夜間緊急対応	実人数1名、延1件	実人数3名、延3件

3. 利用者家族への支援及び研修会の案内

(1) 面談、電話連絡・相談、支援会議の実施

随時利用者家族と面談、電話連絡・相談、支援会議へ参加し、利用者及び家族支援を行った。

(2) 家族向け交流会の参加案内

「雲南地域にお住まいの精神障がいのある方の家族交流会」への参加（座談会）

（主催：地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館）

令和4年2月26日（土）10：00～11：30 下熊谷交流センター

家族同士でのフリートークで日頃の思いや悩みなどを共有し、心の負担軽減を図った。

4. 関係機関との連携

個別支援計画の作成や実施にあたっては、相談支援機関や他の福祉サービス事業者、医療機関等関係機関との連携を図った。

5. 体験利用の受入れ

不安なくグループホーム利用が開始できるよう、事前の体験利用を受入れた。

	R3年度	R2年度
体験利用	実人数2名、計3回、計8日間	実人数4名、計5回、計20日間

令和3年度 グループホームレインボーハイツ利用者の状況 (R4.3月現在)

①利用者数

単位：名(%)

ユニット名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レインボーハイツ	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	119(99.2%)
いいしハイツ	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34(56.7%)
こじょうハイツ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72(100.0%)
はるひハイツ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36(60.0%)
計	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	261(83.7%)
特記：入院者	1	1	2	1	1	2	2	3	1	0	0	1	15(実1)
体験利用者	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3(実2)

②障害支援区分

単位：名

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
2	0	5	7	6	1	0

③男女別・年代別

単位：名(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男	0	1	3	2	3	4	1	14(66.7%)
女	1	0	0	0	2	2	2	7(33.3%)
計	1(4.8%)	1(4.8%)	3(14.3%)	2(9.5%)	5(23.8%)	6(28.5%)	3(14.3%)	21

④利用期間別

単位：名

1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年	15年以上
2	3	7	4	5

⑤日中の活動先

単位：名

一般企業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業	生活介護事業	その他
8	1	4(1名生活介護)	8	0

⑥障がい種別

単位：名(%)

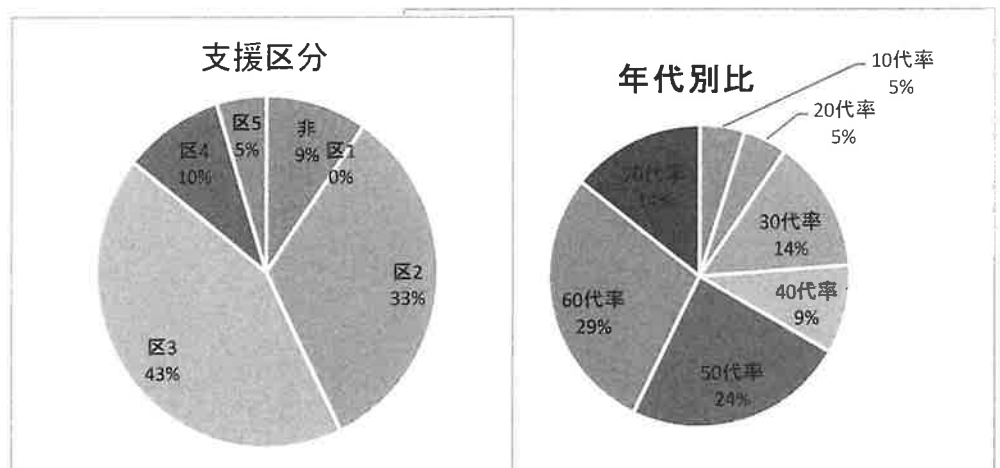
精神障がい 13 (61.9%)	内 身体障がい重複(3)、知的障がい重複(1)、高次脳機能障がい重複(1)
知的障がい 8 (38.1%)	内 精神障がい重複(4)

⑦新規利用者数

新規利用者数
2

⑧退所者数と退所先

退所者数	退所先
4	市営住宅：1 民間アパート：1 実家：1 死亡：1



令和3年度 児童発達支援事業所さくら教室 事業報告

1. 実施した支援事業

- (1) 児童福祉法に基づき、障がいのある児童に療育を行い、身体機能、身辺自立、社会性の発達支援を行なった。
- (2) 1市2町から障がい児通園(デイサービス)事業を受託し、障がいのある児童、その家族に対し、療育活動、社会学習活動などを行った。
- (3) 雲南市から日中一時支援事業を受託し、障がいのある児童に活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための療育を行なった。
- (4) 県療育等支援施設事業を受託し、訪問、施設指導の方法により、療育的支援が必要な児童、保護者に支援を行った。

2. 契約、利用状況(単位:人)

(1) 利用状況(在住町村・年代別)

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
雲南市		3	4	5	14	26	3	3	4	4	3	3	5	25
奥出雲町			1	2	1	4	1							1
飯南町		1				1	1	2	1					4
計		4	5	7	15	31	5	5	5	4	3	3	5	30

(2) 月別利用状況(利用児延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学児	89	62	88	74	96	91	90	86	93	98	74	98	1039
就学児	77	40	51	66	124	44	62	55	54	58	46	60	737
計	166	102	139	140	220	135	152	141	147	156	120	158	1776

(3) 利用人数推移(利用児延人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学児	R1	85	76	74	94	89	87	91	96	101	102	87	110	1092
	R2	60	47	66	55	66	55	63	68	74	78	67	97	796
	R3	89	62	88	74	96	91	90	86	93	98	74	98	1039
就学児	R1	41	24	40	89	109	31	30	33	38	31	33	80	579
	R2	87	41	49	38	129	26	48	41	44	60	38	68	669
	R3	77	40	51	66	124	44	62	55	54	58	46	60	737

3. 日中一時支援の契約、利用状況(単位:人)

(1) 利用状況(在住町村・年代別)

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
雲南市			1		3	4	1		3	3				7
奥出雲町														
飯南町														
計			1		3	4	1		3	3				7

(2) 月別利用状況(利用児延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児人数	22	11	19	12	38	11	12	10	14	14	5	26	194

4. 障がい児通園（デイサービス）事業 子ども発達支援事業

- ・あそびのきょうしつ 6回
- ・ミニさくら飯南 7回
- ・ミニさくら奥出雲 6回
- ・ペアレントトレーニング 6回（9月～12月）
- ・就学相談会 1回
- ・言語聴覚士（ST）による指導 5回
- ・作業療法士（OT）による指導 2回
- ・保護者相談会 2回（リモート形式による）
- ・季節行事活動 2回（りんご狩り、クリスマス会）

5. 島根県療育等支援事業

事業名	実施延べ件数
訪問療育事業	50件
施設指導事業	6件
合計	56件

6. 関係機関との協力、連携機関

- ・いしいクリニック やましろクリニック 児童発達支援センターやましろ・のぎ
医師…保護者座談会
ST…言語指導 OT…作業療法
- ・島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ ペアレントトレーニング 巡回指導
- ・ペアレントメンター島根 ペアレントトレーニング
- ・教育委員会 子ども政策局 就学相談会 相談、情報交換
- ・雲南圏域各市町、保健師、福祉事務所 通園児紹介・相談・情報交換、あそびのきょうしつ
発達クリニック、1：6、3歳児健診後の支援連携
ミニさくら奥出雲、飯南での支援連携

7. 広報誌作

活動内容周知を目的とし、「さくら通信」を発行（利用者、関係機関に配布）

8. 会議、研修等参加

- ・島根県障害者自立支援協議会発達障がい者支援支部会及び島根県発達障がい者支援地域協議会

9. 見学、実習生の受入

雲南市、飯南町、奥出雲町
ニチイキッズ雲南さすき保育園、みなみかも保育園

10. 非常災害対策・緊急時対応

避難訓練の実施

11. まとめ

- ・コロナ過の影響
昨年度同様、感染拡大防止の為の策を講じつつ、事業運営を行った。感染拡大の状況により、医師、専門職の派遣が一時中断、保育所等の関係機関への訪問を中止、行事の中止、もしくは参加者を制限して縮小し開催した。
- ・児童発達支援事業の延べ利用数
昨年度同様、保育所、幼稚園と併用通園、週1回程度利用される児童のみであったが、利用児の年齢層の変化により、昨年度よりも利用数が増加した。
- ・放課後等デイサービス事業の開設曜日の見直し
2年度に放課後の時間が短い曜日、利用人数が少ない曜日があったため、3年度は平日利用を月、火、木曜日としサービス提供を行った。利用日数は少なくなったが利用延べ数は増えた。

令和3年度 指定相談支援事業所そよかぜ館 事業報告

1. 委託相談支援事業

雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託し、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

(1) 市町村別利用者数（実数）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	他市町	計
新規	7	5	2	1	15
継続	164	8	9	2	183
合計	171	13	11	3	198

(2) 障がい種別相談利用者数 ※重複障がいも含む ()内は新規相談者数

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重症心身	その他	計
実	34(1)	56(5)	63(5)	36(5)	11(2)	3	6	209(18)
率	16.3%	26.8%	30.1%	17.2%	5.3%	1.4%	2.9%	
延	850	1,164	1,842	322	187	4	26	4,395
率	19.3%	26.5%	41.9%	7.3%	4.3%	0.1%	0.6%	

(3) 相談形態別相談件数

訪問	528	14.3%
来所相談	198	5.3%
同行	182	4.9%
電話相談	1,439	38.8%
電子メール	14	0.4%
個別支援会議	165	4.5%
関係機関	1,157	31.2%
その他	21	0.6%
合計	3,704	

(4) 相談内容別件数

福祉サービスの利用	1,563	23.3%
障害や病状の理解	366	5.4%
健康・医療	1,306	19.4%
不安の解消・情緒安定	1,184	17.6%
保育・教育	143	2.1%
家族関係・人間関係	905	13.5%
家計・経済	336	5.0%
生活技術	343	5.1%
就労	166	2.5%
社会参加・余暇活動	62	0.9%
権利擁護	12	0.2%
住居	164	2.4%
地域生活移行支援	0	0.0%
その他	171	2.5%
合計	6,721	

(5) 新規利用者の相談経路

県保健所	市町	医療機関	福祉サービス事業所	相談支援事業所	基幹相談支援センター	就業・生活支援センター	包括・ケアマネ	本人・家族	その他	合計
1	5	1	0	1	4	0	0	3	0	15

(6) 相談支援のまとめ

- ・新規相談では、基幹相談支援センターや市町の担当課からの相談があり、サービス利用や退院後の生活について、手帳や年金の取得についてなどの相談があった。
- ・継続相談では、サービスや病状に関する相談が多くあった。また、転居をされる方がおられ、転居先の相談支援事業所等と連携しながら、生活の移行を進めていくケースがあった。
- ・令和3年7月の豪雨災害においては、日中サービスを利用されている方も多く、福祉サービス事業所と連携を図りながら支援を行った。在宅で過ごされていた方については、家族や近隣住民に連絡をとりながら、様子を確認したケースもあった。今後も災害時の避難行動や対応については、訪問時に利用者の確認をしたり、関係機関とも情報を共有していく必要がある。

2. 計画相談支援・障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、障がいのある方が希望する暮らしの実現に向けてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

(1) 契約者数の状況

①計画相談支援 新規契約5名、解約14名（サービス利用終了、転居）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	109	110	108	108	108	107	105	106	106	106	106	104
新規	1		1				2					1
解約		2	1		1	2	1				2	5

②障害児相談支援 新規契約3名、解約13名（就学、進級等によりサービス利用終了）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	45	45	45	45	43	43	44	45	45	45	46	45
新規						1	1			1		
解約				2							1	10

(2) 支援の状況

①計画相談支援 平均モニタリング数：57.8件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	1	0	1	2	1	0	3	1	1	0	0	1
継続サービス利用支援	62	54	66	57	50	67	54	51	69	51	50	63

②障害児相談支援 平均モニタリング数：14.0件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	3	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
継続サービス利用支援	10	5	19	21	2	21	9	13	23	9	4	32

3. 地域相談支援事業

指定一般相談支援事業所として単身で生活する障がい者等に対して地域定着支援を行った。

地域移行支援	実人員 0名	延 0名
地域定着支援	実人員 6名	延 30名
緊急時支援	緊急時支援Ⅰ（0件） ※緊急訪問等	緊急時支援Ⅱ（1件） ※深夜における電話対応

4. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業

島根県から高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、利用者や家族への支援、関係機関との連携等に取り組んだ。

(1) 相談支援

①新規相談者数

	実人員	(再掲) 新規者の相談経路						
		医療機関	障害者支援事業者	介護保険事業者	保健所	市町村	その他	なし
人員	7	1	0	2	2	2	0	0

②相談延べ件数 (実人数：17名)

	電話	来所 来院	訪問	メール 書簡	その他 (出張・同行等)	計
本人	7	0	28	0	9	44
家族	9	0	20	0	2	31
関係機関	52	4	9	0	0	65
計	68	4	57	0	11	140

(2) 家族の集いの開催：

①令和3年7月31日(土)『新型コロナウイルス感染症について』 中止

(3) 関係機関との連携、ネットワークの構築

①ネットワーク会議の開催：

・第1回：令和3年7月9日(金) チェリヴァホール、24名参加

・第2回：令和4年3月16日(水) 24名参加

※新型コロナウイルス感染予防のため中止とし、書面により実施した。

②東部地域支援拠点(松江青葉病院)との連絡会の開催

(4) 研修会の開催

・令和4年3月16日(水) 開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

5. ピアサポーター活用事業

(1) ピアサポーター活用状況

・ピアサポーター登録者数：4名(男性2名、女性2名)

・活用延べ人数：①個別支援0回、②集団支援22回57人

(2) 活動内容

・これまで行っていた病院への活動参加は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため病院への訪問ができず、実施していない。

・地域での様子入院患者に伝える活動として、ピアサポーターたより(年4回)を作成し、病院へ届けた。また、7月には雲南保健所にて、医療機関2ヶ所とリモート会議があり、出席した。ピアサポーターたよりの感想を聞いたり、今後の予定について確認をした。

・11月に島根県立こころの医療センターのデイケアに訪問し、レクリエーション等を通し、当事者の方と交流を図ったり、デイケア利用者から質問に対してピアサポーターの経験を話してもらった。

・10～12月にピアサポーター養成講座に合わせて、フォローアップ研修が行われた。こころの病気との付き合い方やピアサポーターの役割について学んだ。

6. 障害支援区分認定調査の受託実施

雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、障害支援区分認定調査を行った。

認定調査	35件
------	-----

(雲南市 30件、奥出雲町 3件、飯南町 2件)

7. 研修会や会議等への参加

①雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画(雲南市地域部会、雲南市相談支援事業所連絡会)

②他機関主催の会議等への出席(精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議)

③相談支援従事者等研修への参加(ファシリテーター養成研修、相談支援従事者現任研修、グループスーパービジョン研修、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、相談支援専門員協会研修)

8. 広報・啓発活動他

・広報紙「そよかぜだより」発行、・ホームページによる情報提供

I. 事業実施状況

1. 相談・支援

- (1) 障がい者や事業主からの個別相談
- (2) 職業準備訓練や職場実習の斡旋
- (3) 事業主に対する障がい者の就職後の雇用管理への助言、調整
- (4) 働く仲間のグループ育成と交流会の開催「ゆーとぴあ」
 - ①雇用安定等事業在職者交流会
 - i 5月30日(日)：健康講座(睡眠について) 12名参加
 - ii 9月26日(日)：勉強会(インターネット犯罪について) 12名参加
 - ②島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業
 - i 5月30日(日)：昼食会、軽スポーツ 12名参加
 - ii 7月17日(土)：音楽鑑賞、昼食会、木工教室 8名参加
 - iii 9月26日(日)：昼食会、納涼祭 12名参加
 - iv 12月12日(日)：軽スポーツ、昼食会 12名参加
 - v 3月12日(土)：年度末お疲れ様会、昼食会、陶芸教室 11名参加
- (5) 求職者のためのピアサポート活動の実施
 - i 8月27日(金)：体験発表 グループワーク 6名参加
 - ii 12月13日(月)：会社見学(三刀屋金属株式会社 採用担当者と登録在職者の話) グループワーク 10名参加

2. 関係機関との連携、ネットワークの構築

- (1) 就労支援専門部会の開催
 - ①全体会(ネットワーク会議)
 - ・開催日：4月28日、3月17日(オンライン開催)
 - ・内容：各ワーキンググループの活動内容の共有、意見交換等
 - ②一般就労ワーキンググループ
 - ・開催日：10月8日、11月8日、12月6日
 - ・内容：就労支援事業所職員研修会開催に向けての就労支援事業所職員アンケート結果の共有・取り組み内容と企画の検討
- (2) 雲南地域はたらく応援プロジェクトの取り組み
 - ①福祉サービス事業所とのケース検討会の実施：8事業所、対象者 15名
 - ②福祉サービス事業所利用者の職場体験実習支援：11件 他
- (3) 研修会の開催
 - ①マナーアップ講座：ほたるハウス、きすきの里他、計7回実施
 - ②就職ガイダンス(10月29日)
 - ・会場：三刀屋農村環境改善メインセンター
 - ・内容：楽しく学ぼう！ビジネスマナー講座(島根人材育成 江角尚子氏)、就職活動のポイント(ハローワーク雲南 三島紘志氏)
 - ・参加人数：19名
 - ③就労学習会
 - ・令和4年2月18日に開催を予定し、関係機関や登録者等に案内送付したが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止。
- (4) ハローワーク雲南との情報交換会の開催：計11回実施
- (5) 東部発達障害者支援センターウィッシュとの情報交換会の開催：計3回実施
- (6) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画
- (7) 他機関主催の会議等への出席(労働局主催会議、特別支援学校進路相談会他)

3. 広報・啓発活動他

- (1) 企業への訪問、職場開拓
- (2) 障がい者雇用情報紙「レインボー」企画・取材
- (3) 広報紙、ホームページによる情報提供 他

II. 相談・支援実施件数

1. 支援対象障がい者の状況（令和4年3月末時点）

(1) 登録状況（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R2)
在職中	17	72	58	10	157	145
求職中	13	19	35	3	70	68
その他	2	11	8	3	24	25
合計	32	102	101	16	251	238

(2) 登録者の居住地（人）

雲南市	192
奥出雲町	35
飯南町	19
その他	5
合計	251

(3) 新規登録者の利用経路（人）

ハローワーク	2
地域障害者職業センター	1
特別支援学校	4
就労移行支援事業所	0
上記以外の福祉サービス事業所	3
市町村等行政機関	0
直接利用	1
その他（病院・保健所等）	3
合計	14

<登録者の状況>

新規相談は精神障がいのある方が多くを占めた。

2. 障がい者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（手段別）（件）

		(R2)
センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	391	413
電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	1,232	1,055
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	244	157
家庭・入所施設への訪問	73	55
その他（ハローワーク等への同行、企業・施設見学同行、ケース会議への参加等）	186	155
合計	2,126	1,835

(2) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（内容別）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R2)
就職に向けた相談・支援	34	175	410	1	620	588
職場定着に向けた相談・支援	12	293	545	65	915	738
日常生活、社会生活に関する相談・支援	9	147	197	17	370	391
就業と生活の両方にわたる相談・支援	3	46	116	56	221	118
合計	58	661	1,268	139	2,126	1,835

<相談・支援の状況>

すでに就労している方からの職場での人間関係や仕事内容、働き方など、働き続けることについての相談や、また退職や転職等に向けての相談が多く、ご本人と企業との間に立って何度もやり取りが必要となることが多かった。

(3) 職場実習等のあっせん件数 (件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R2)
職業準備支援	0	0	0	0	0	0
職場実習	0	6	11	0	17	11
合計	0	6	11	0	17	11

<職場実習支援の状況>

一昨年よりは回復したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受け入れ先と利用者の状況によっては実習が困難になる場合もあり、コロナ禍前に比して件数は減少している。

(4) 就職状況

①就職件数 (件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R2)
一般 (30 時間以上)	0	4	7	1	12	7
短時間① (20 時間以上 30 時間未満)	0	1	2	1	4	2
短時間② (20 時間未満)	0	0	3	0	3	3
合計	0	5	12	2	19	12

※その他、就労継続支援事業 A 型への就職件数 : 0 件 (R2 : 1 件)

②就職先産業別件数 (件)

農林漁業	1
製造業	7
小売業	6
生活関連サービス業	1
医療・福祉	2
飲食業	1
公務	1
合計	19

③職業別件数 (件)

専門的・技術的職業	1
事務的職業	2
サービスの職業	3
農林漁業の職業	1
生産工程の職業	8
運搬・清掃・包装等の職業	2
販売の職業	2
合計	19

<就職支援の状況>

感染症拡大影響により製造業の求人は前年度よりは多少上向きにはなったとはいえ以前より少ない状況が続いている。製造業以外での小売り業などでの就職活動が増えている。

(5) 職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援件数 : 142 件 (R2 : 110 件)

②令和 2 年度中に就職した者 (雇用契約等により 1 年以内に離職することが明白な者を除く) の、就職後 1 年経過時点の職場定着率

A. 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月までの就職件数 (雇用契約等により 1 年以内に離職することが明白な者を除く) (件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般 (30 時間以上)	1	3	3	0	7
短時間① (20 時間以上 30 時間未満)	0	1	0	0	1
短時間② (20 時間未満)	0	1	2	0	3
合計	1	5	5	0	11

B. Aのうち就職後1年経過時点での在職者数（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	1	5	3	0	9

C. 1年経過時点の定着率（B/A）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R2)
合計	100.0%	100.0%	60.0%	-	81.8%	94.1%

<職場定着支援の状況>

職場での人間関係やほかの仕事への転職希望といった退職の相談が多く、企業と当事者の仲介役として電話連絡、訪問支援等を行うようなケースが多かった。

3. 事業主に対する相談・支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数：82事業所（R2：77事業所）

(2) 相談・支援件数（手段別）（件）

		(R2)
①センターへの来所	11	6
②電話（FAX、e-mail等を含む）	438	300
③企業訪問（職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む）	254	186
④その他（ケース会議等を通じた支援）	6	16
合計	709	508

(3) 相談・支援件数（内容別）（件）

		(R2)
①雇入れに関する相談・支援	117	94
②雇用する障がいの者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	442	308
③雇用する障がいの者の生活面に関する相談・支援	28	25
④障がいの者の雇用支援制度に関する相談・支援	3	0
⑤その他（職場体験実習に関する事等）	119	81
合計	709	508

<事業主に対する相談・支援の状況>

定着支援での電話連絡、相談が増え、コロナ禍ではあるが、昨年度より訪問支援も増えてきている。

4. 関係機関との連携状況等

(1) 他支援機関に対する相談・支援件数（就労支援に関する一般的な相談への対応や、他機関が主催するセンター登録外のケース会議への出席等）：210件

(2) センター登録者への個別支援において、関係機関と連携を図った件数（ケース会議や打ち合わせ、他機関への支援依頼等）：1,124件

<関係機関との連携状況>

生活支援機関、医療機関、教育機関等、様々な関係者と連携を図りながら支援にあたった。

令和3年度 地域活動支援センターパレット 事業報告

(地域活動支援センターI型事業・機能強化事業、地域生活支援事業、手話通訳者設置事業)

1. 総括

- (1) 地域活動支援センターI型事業を実施した。主に精神、知的、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもり等により、社会参加ができてにくい方を対象に、憩いの場の提供、創作活動や生産活動等の機会の提供、自主活動支援(余暇活動)、地域交流活動の場を提供した。また、機能強化事業を受託し、専門職員を配置すると共に週末も開所し、平日は就労あるいは福祉サービス事業所等に通所している方の地域交流、活動の場を提供した。また、当事者団体の自主活動を支援した他、ボランティア育成に取り組んだ。
- (2) 地域生活支援事業を実施した。身体、知的、精神、発達、高次脳機能に障がいのある方やひきこりの方を対象に社会生活トレーニング、自主活動支援(余暇活動)、仲間づくりや地域住民への啓発活動、広域的な地域交流事業を実施した。また、聴覚に障がいのある方を対象に手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成に取り組んだ。
- (3) 手話通訳者設置事業を実施した。聴覚障がいのある方を対象に手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業を円滑に進めるとともに日常生活の便宜を図った。
- (4) 今年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事等の中止や延期をしながら事業を行った。

2. 開所日及び週末開所

開所日について、日曜日の利用者が多いことや、継続的かつ良質なサービスを提供するために土曜日を休所とし、日曜日(第5日曜日を除く。)を開所とすることに変更した。また、新型コロナウイルス感染拡大の心配もあったが、原則、通常どおりし、平日は就労、福祉サービス事業所等に通所している方、医療機関に通院している方も当事者活動に参加できるようにした。サロンでのピア活動やテーマを設定した活動の機会を設け、当事者のエンパワメント、リカバリーを支援した。但し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月に4日間臨時休所とした。

開所日 285日	開所率 78.1%
----------	-----------

開所日：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 日曜日 午前9時30分～午後4時

休所日：土曜日、第5日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日

3. 市町別利用者数

国内での新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり利用者数は減少した。

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他市町	計
実利用者数	113人	14人	9人	3人	139人
延利用者数	6,240人	1日当り利用者数	21.9人		

4. 地域活動支援センターI型事業・機能強化事業

(1) 日常生活支援

一人で自由に過ごしたり、仲間同士で語り合ったりできる憩いの場(ピアサロン)を提供した。他者との関わり方や情動、ストレスへの対処、マナーやルール、金銭管理、食生活等で相談や援助

が必要な方には職員が関わり、日常生活が安心して送れるよう支援した。また、病状や生活経験不足などで自宅での入浴や洗濯ができにくい方に浴室や洗濯機・乾燥機(有料)を提供したが、利用者はなかった。

ピアサロン、ピアカウンセリング	4,815人
入浴サービス	0人
洗濯サービス	0人

(2) 生産活動

「自分のペースでゆっくり働きたい」、「障害福祉サービス利用までの準備期間として作業を経験したい」などという方を対象に軽作業の場を提供し、社会参加の促進を支援した。個別の目的に沿った作業への取り組みや体調等に応じた作業ができるよう支援をした。

軽作業(毎週火・水・木曜日 10時～12時実施)	144回	247人
--------------------------	------	------

(3) 自主活動支援

創作活動、パレットタイム、パレットシアター、カラオケの日など利用者の余暇活動、自主活動への意欲につながるよう利用者のニーズを考慮し、企画、実施した。また、体力、健康の増進、気分転換などを目的に軽スポーツ活動も実施した。その他、テレビ、パソコン、本、マンガなどを設置し、個人で過ごすことができるようにした。さらに利用者が多様な考え方を出し合い、分かち合うピア(仲間)サポートの場として利用者ミーティング(茶話会)を実施した。また、年1回ずつ奥出雲町、飯南町での出張支援センターを実施した。

創作活動、パレットタイム	12回	47人
スポーツ活動(軽スポーツ、卓球)	30回	117人
文化活動(カラオケ、シアター、社会研修)	19回	65人
自主活動(スポーツ、パソコン、就労学習会)	36人	
利用者ミーティング(茶話会)	4回	23人
出張支援センター	2回	28人

(4) 地域交流活動

地域の講師や地域のボランティアを招き、茶道、書道、絵手紙教室、食事会などを実施した。講師やボランティアから作法や調理の仕方等を教えてもらうことを通して楽しく会話をするなど交流することができた。

茶道教室、書道教室、絵手紙教室	12回	47人
食事会、カレーの日	23回	89人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	9人

(5) 当事者団体への支援

当事者会サークル雲南、雲南障がい者スポーツ協会の事務局として、より充実した当事者活動になるよう支援を行った。サークル雲南では、雲南地域在住の当事者の様々な活動を通じた社会参加と地域生活での充実を支援した。スポーツ協会では、屋外で行うグラウンドゴルフ大会は、感染防止対策を行いながら実施したが、スポーツ大会、ニュースポーツ大会は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止した。

団体名	内容	実施回数	参加者数
当事者会サークル雲南	ミーティング、例会等	29回	244人
	ボランティア活動	6回	49人
	スポーツ活動	27回	271人
	たよりの発行	14回	362人
	会議への出席	2回	4人
雲南障がい者スポーツ協会	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会	1回	54人

(6) 地域交流、啓発活動

毎年、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関と協働し、障がいへの理解促進、啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントを図ることを目的に地域交流活動を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、雲南地域当事者交流会は中止したが、各福祉サービス事業所で「事業所紹介動画」のDVDを製作し、交流を行った。

(7) ボランティア育成・連携（センター主催活動への参加・支援）

地域ボランティアと連携を図り、食事会などを通じた当事者との交流の機会を設け、障がいに対する理解促進、啓発を行った。ただし、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、雲南地域当事者交流会は、中止した。

内容	実施回数	参加者数
食事会、カレーの日、絵手紙教室	12回	25人
出張ピアサロン、視覚交流会	8回	23人
雲南人権擁護委員との交流活動	1回	2人
雲南地域スポーツ大会	1回	3人

5. 地域生活支援事業

(1) 社会生活力トレーニング

主に精神障がいのある方を対象に、パソコンに触れ、慣れ親しむ体験の場を月1回提供した。また、重度身体障がいのため外出が困難な方を対象とした訪問パソコン教室を実施した。

パソコン体験教室	46時間	46人
訪問パソコン教室	73時間	73人

(2) 手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講習会等

聴覚等に障がいがある方のためにコミュニケーションが円滑にできるよう、コーディネート支援を行い、当事者支援をした。さらに、手話奉仕員養成講習会（基礎講座）を開設や手話奉仕員、要約筆記奉仕員等のフォローアップ研修会、手話体験教室を行い、地域啓発と理解促進を行った。なお、県指導者研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。

コミュニケーション支援依頼	113件
手話通訳者派遣	39人
手話奉仕員派遣	12人
要約筆記奉仕員派遣	1人
盲ろう者通訳介助員派遣	61件

手話奉仕員養成講座(基礎・補講)	講座・補講 12回(受講生 14人)	139人
手話奉仕員研修会	4回	60人
要約筆記者等研修会	中止(コロナ禍のため)	—
手話体験教室(雲南市、飯南町)	2回	20人

(3) 出張ピアサロン、視覚障がい者の外出支援

各地域に出向き、当事者の交流活動を開催し、余暇活動や仲間作り、情報交換の場を設けた。

内容	場所	内容	回数	参加者数
出張ピアサロン	雲南市	レクリエーション、ものづくり、コロナ禍での生活について、工場見学、ミニ正月飾り作り	5回	49人
	奥出雲町	健康体操	1回	8人
	飯南町	リンゴ狩り	1回	20人
視覚障がい者外出支援	交流活動(雲南市)	交流会、遠足	2回	14人

(4) 広域的な地域交流・研修事業や啓発活動の実施

毎年、広域的な地域交流活動を開催し、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関との協働や障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントの向上を図っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、ふれあいまつりは中止とした。ただし、地域の方々へ精神障がいに関する正しい知識の伝達と理解を促すために、機関紙「そよかぜだより」(拡大版)を作成し配布した。

内容	実施回数	参加者数
精神障がいのある方の家族交流会	1回	7人
家族研修会(こころのフォーラム2021)	1回	29人
雲南地域スポーツ大会	1回	33人
そよかぜだより発行(うち1回は拡大版)	2回	

6. 手話通訳者設置事業

聴覚に障がいのある方の通訳、相談、コーディネートを行うとともに手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業が円滑に進むよう日常生活の便宜を図った。

通訳	333件
相談	829件

講演会等での手話通訳者、要約筆記者コーディネート	依頼	9件
	当事者講師	7人
	通訳者	4人

IV. 事業活動の運営に当たって

1. 利用者の人権尊重、苦情解決

いかなる時も利用者の人権を尊重して業務に従事し、虐待防止に取り組んだ。

苦情解決担当者会議の開催、第三者委員を交えた委員会の開催、第三者委員による共同生活援助事業所レインボーハイツの巡視及び利用者と第三者委員との懇談会等を開催して、利用者の権利擁護に努めた。また、法人内において人権、権利擁護に関する所内職員研修会を開催するとともに、所外において開催される人権研修会に参加した。

苦情解決担当者会議	9月24日(金)
第三者委員を交えた委員会	10月4日(月)
第三者委員による共同生活援助事業所レインボーハイツの巡視、利用者と第三者委員との懇談会	11月24日(水)

寄せられた苦情・意見に対しては、誠意を持って話を聴き、改善に取り組んだり、或いは理解をいただくこととしている。

寄せられた苦情・意見 0件

2. 職員の研修、教育

1. 施設外専門研修を積極的に受講させ、障がい者支援の力量形成に取り組んだ。
2. 法人内に研修委員会を設置し、施設内研修を計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んだ。
3. OJTの推進、自己啓発や資格取得に向けた自己学習の支援等を行った。

研修実績表

月	・全職員対象(所内) ・テーマ、業務調整により全職員対象(所外)	・職務経験・職種等による対象(施設外研修)	
	施設内(外)研修	職種・事業担当等による	職務経験・職位による
4	職員会議(所内) 各事業間の理解と連携 4/1	島根県相談支援専門員協会第1回研修(オンライン)(3名)4/2	
5		発達障がい基礎研修(2名)5/30 島根県相談支援従事者専門コース別研修ファシリテーター養成研修(1名)5/26~27	
6		メンタルヘルスのために運動しよう ZOOM(1名)6/5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修【チームリーダーコース】(1名)6/1~2
7		相談支援従事者初任者研修(1名)7/1~2、8/5、9/9~10 サービス管理責任者更新研修(1名)7/13 障害支援区分認定調査員及び市町村審査会委	福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅研修コース】(2名)7/20~21

		員合同研修(1名)7/26	
8		強度行動障害支援者養成研修(1名)8/25~26	
		相談支援従事者現任者研修(1名)8/26~27、 9/22、10/7、10/28	
		島根県相談支援従事者専門コース別研修グル ープスーパービジョン研修(1名)8/16~17	
9	職員研修 (所内) 「基本理念、基本方針、行動指針につ いて」(30名)9/2 (研修委員会主催)	労務管理研修(2名)9/13	
		事業主支援セミナー(1名)9/29	
		雲南市社会福祉法人連絡会研修会(2名)9/24	
		県医療的ケア児等コーディネーター養成研修 (1名)前期9/29~30 後期10/14~15	
10		障がい者雇用促進フォーラム(2名)10/12	
11	職員研修 (所内) 「伝達研修」 (28名)11/4 (研修委員会主催)	令和3年度雲南圏域ゲートキーパー養成研修 会(3名)11/26	
		島根県相談支援従事者専門コース別研修ファ シリテーター養成研修(1名)11/12	
		令和3年度中国ブロック研修会 ZOOM(1名)11/13	
		障害者就業・生活支援センターブロック別交 流会議 ZOOM (1名)11/11	
		中国・四国ワーカー連絡会 ZOOM (2名) 11/12	
		腕障がい予防のための研修会 ZOOM(1名) 11/14	
12	職員研修 (所内) 「人権・権利擁護について」(28名) 12/16 (研修委員会主催)	会計実務研修(上級コース)(2名)12/1	監事研修(3名)12/2
	こころのフォーラム2021 「新型コロナウイルス感染症対策講座」 12/10 (パレット・そよかぜ館主催)	会計実務研修(中級コース)(1名) eラーニング	社会福祉法人連携推進 セミナー(1名)12/6
		全国相談支援ネットワーク研修(オンライン) (1名)12/2~3	
		令和3年度ひきこもり支援研修会(2名) 12/24	経営協セミナーZOOM (1名)12/24
		島根県高次脳機能障がい者支援研修 (1名)12/18	
1		第2回日本精神科看護協会島根県支部研修会 「精神障がい者地域生活移行・地域定着研修 会」(オンライン)(1名)1/22~23	社会福祉法人の事業継 続に向けた取組の推進 研修(1名)1/17

2	障がい者虐待防止・権利擁護研修 (1名) 2/21、25	キャリアパス制度運用 研修 I (1名) 2/16
	令和3年度第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議・シンポジウム (1名) 2/25	業務継続計画(BCP)策定 支援研修(1名) 2/21
3	令和3年度 雲南ケア会議 (市ケア会議) (1名) 3/4	

※職員研修 1/20 開催予定 「メンタルヘルス研修」⇒コロナ禍のため中止

※福祉サービス苦情解決研修会⇒コロナ禍のため中止

※人権・権利擁護 (児童・高齢・障がい) 研修 ⇒コロナ禍のため欠席

3. 防災対策

消防計画に基づいて、日常点検を実施し火災予防に努めるとともに、非常時に冷静な行動をとることができるよう避難訓練や消火訓練を実施した。また、交通安全運動にも取り組んだ。

防災対策部会の開催	5月7日(金)、6月3日(木)、6月17日(木)、 6月30日(水)、8月30日(月)
総合訓練の実施	三刀屋事業所：10月26日(火) 木次事業所：3月1日(火) 加茂事業所：8月20日(金)
部分訓練の実施(グループホーム水害発生時の避難確認)	レインボークイツ10月21日(木)、いいしハイツ10月20日(水)、 こじょうハイツ10月3日(日)、はるひハイツ10月13日(水)
交通安全運動の実施	4/7(水)～4/9(金)、9/22(水)～9/27(月) ※しゃぼん玉工房利用者、グループホーム利用者の自転車点検 1回/月

7月12日の豪雨災害時には、道路の通行止め、水道の断水等が発生し、いいしハイツ3名、しゃぼん玉工房1名、にじいろ1名の合計5名の利用者が、帰宅できず地域活動支援センター「パレット」の談話室和室で、1泊された。

4. 関係機関との連携、運営の公開

障がい者総合支援協議会への参加や個別支援会議の開催、就業支援に関するネットワーク会議や高次脳機能障がい者支援に関するネットワークの取り組み等を通じて関係機関や他の障がい福祉サービス事業者等との連携を図った。

また、雲南市社会福祉法人連絡会として、「くらしの安心を支える 身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」、「うんなん福祉・安全サポーター」による「ながら見守り活動」、「地域の防犯活動」を展開した。

「そよかぜだより」「さくら通信」の発行、ホームページの活用によって情報の提供に努めた。

5. 地域の人材育成や地域啓発

(1) 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、今年度は、手話奉仕員養成講習会(令和3年度は、基礎講座のうちコロナ禍のため2年度に延期した残分)を受講生14名(雲南10名、奥出雲3名、飯南1名)で、7回(14時間)実施し、終了した。また、補講を5回

(10時間)開催し、手話奉仕員の養成に努めた。また、登録手話奉仕員の研修会を4回、手話啓発活動として、手話体験教室を雲南市と飯南町で開催した。一方、登録要約筆記奉仕員フォローアップ研修は、3月に開催予定としていたが、コロナ禍のため中止とした。

(2)雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、家族交流会と家族研修会を開催し、精神障がい者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を行うとともに雲南地域の家族の交流を深めた。

(3)雲南地域スポーツ交流会は行ったが、ふれあいまつりはコロナ禍のため中止とした。啓発活動として雲南市の全小中学校の保護者を対象にそよかぜだよりの特別版を発行し、配布した。

(4)体験実習や研修の受け入れ、視察や見学の受け入れについては、コロナ禍の影響により、例年より減少したが、理解を深め合うことができた。

就労支援事業所しゃぼん玉工房、生活介護事業所にじいろ、地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館、雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでの受け入れ

・実習・研修者：出雲養護学校、出雲養護学校雲南分教室、島根大学医学部看護学科、三刀屋中学校、トリニティカレッジ、県立大看護学部、吉備国際大学、松江養護学校
8団体 24名

・視察・見学者：出雲養護学校雲南分教室、農業大学校、三刀屋小学校、島根リハビリテーション学院
4団体 55名

児童発達支援事業所さくら教室での受け入れ

・視察・見学者：雲南市、奥出雲町、飯南町、ニチイキッズ雲南木次保育園、みなみかも保育園
4団体 10名

6. 福祉団体への支援

福祉団体の自主性を尊重し、効率的な運営ができるよう事務局を担当し、支援した。

(1) 雲南障がい者スポーツ協会

目的：障がい者がスポーツ競技への参加を通して体力の増進を図り、障がい者相互の親睦の輪を広げ、社会参加の意識を高めるとともに、地域の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。

・雲南障がい者スポーツ協会関係事業 (参加者総数 54名)

6月開催のグラウンドゴルフ大会は実施したが、スポーツ大会、ニュースポーツ大会はコロナ禍のため中止とした。

・島根県障がい者スポーツ協会関係事業 (参加者：ボーリング2名、ボッチャ5名、グラウンドゴルフ21名)

(2) 精神当事者会サークル雲南 (支援総数 930人)

目的：雲南圏域に在住の精神障がい当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、活動を通じて様々な体験をし、社会参加の促進と充実を図ることを目的とする。

活動内容：①ミーティング、総会、交流活動、作業活動、学習活動、各種会議への参画、たよりの発行

②スポーツクラブ活動 (ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ)、大会等への参加

③清掃美化等ボランティア活動